



ご恩送り

校長 合田 伸太郎

♪ 仰げば 尊し 我が師の恩 教の庭にも はや幾年 ♪

かつて卒業式でよく歌われていた歌です。教員として、卒業していく生徒に歌ってもらったときはいつでも「我が師の恩」のところが来ると、なんだか気恥ずかしく、むずがゆい気持ちになっていました。「恩に着ます。」と言われて「いや、いや・・・。」という、あの感覚でしょうか。「別に『恩返し』を期待して『恩を着せた』覚えもないし、見返りがなくても『恩知らず』とも思わないよ。」晴れの舞台の片隅で、一人そんな気分になることがありました。

「ご恩送り」という言葉と巡り合って、もう随分経ちます。江戸時代にあった言葉らしいのですが、Give-and-takeという「恩返し」の考え方に対して「誰かに与えられたら、その人ではなく、それを他の誰かに与える」という意味です。考え方として自分の中にありましたが、言葉としてズバリと言いつけていたのがハッとすると同時に、「我が師の恩」という言葉から「恩返し」を発想していた自分の「ジコチュウ」なところを少し反省させられました。

そもそも「恩」とは何か。くじけそうなとき、一生懸命励ましてくれたこと。苦しいとき、知っているのに知らないふりをしてくれたこと。一緒になって悩んだり、怒ったりしてくれたこと。不安なとき、ただ黙ってそばにいてくれたこと。くやしいとき、何も聞かずにおいしいものを食べさせてくれたこと。悲しいとき、気分転換にどこかに連れ出してくれたこと。さりげなく、ささやかで、やわらかく、あたたかい・・・それぞれの人の心に深く刻み込まれた出来事があります。自分を救ってくれたさりげない言葉や行動があるのです。

私たちは、これまでたくさんの人の恩を受けて生きてきましたし、これからもそうして生きていきます。その恩を残らず返すことができれば素晴らしいと思いますが、なかなかできないのが現実です。受けた恩に比べると、自分の微力に、恩返しを考えることすらおこがましいと感じることもあります。でも、受けた恩をまた別の人に送っていくことはできます。それも、小さなことから少しずつ、無理せずできることから始めればよいのです。それすらできる余裕のないときは、せめて恩を感じるしなやかな感性をもち、他の人から受けた行為に感謝できる人間でありたいと思います。

人権・同和教育公開授業を全学年で実施 ～3年生、部落問題学習の紹介～



教員による自作動画を視聴

「父はどんな気持ちで結婚に反対したのか」を話し合い発表

教師が思いを語る

2月4日(木)の6校時、3学年一斉に人権・同和教育公開授業を行いました。感染症防止のため、保護者の参加は叶いませんでしたが、市教委や文化センター、周辺の小中学校の教職員15名の方々に参観いただきました。

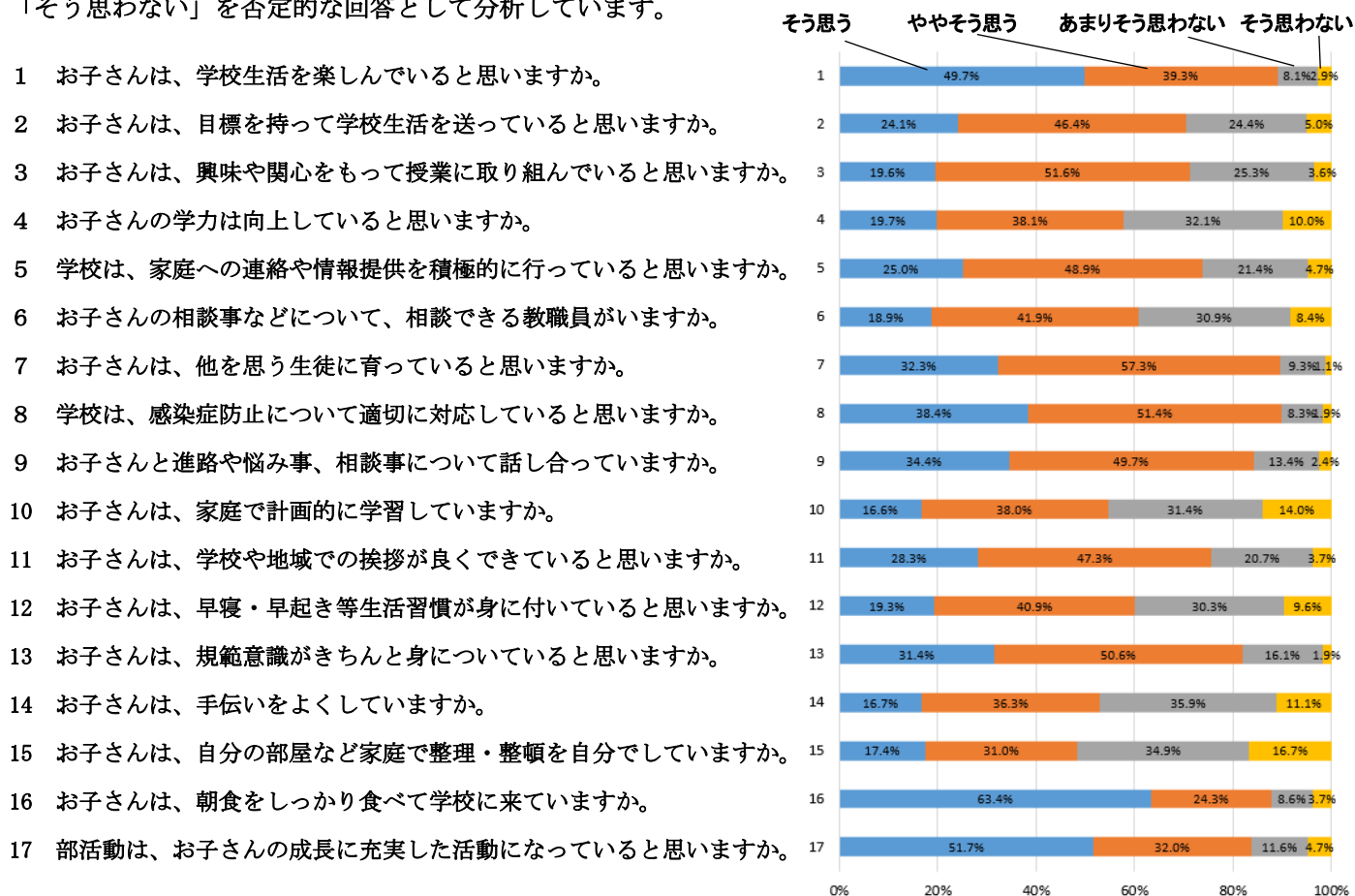
卒業を間近に控えた3年生では、3年団の教員が自作動画を作成し、今なお残る結婚差別の現状を知るとともに差別解消に向けて行動できる力を身につけることをめざして部落問題学習を行いました。ワークシートには、家族の方と授業の内容について話しあっていたいただき、その感想を書く欄を設けるなど、保護者の方々にもご協力いただきました。ありがとうございました。感想の一部を紹介させていただきます。

母に夕飯の際、今日の授業について話しました。その時に「本当に好きだったのに、相手の住んでいる場所や家柄で家族に猛反対されて結婚できず、今でも独身の友だちがいる。」と聞かされてとても驚きました。授業で見た映像のようなことがこんなに近くで起きていたんだとショックを受けました。先生たちが演じていた例は、本当にある現実なのだと思います。母の友だちのようなつらい思いをする人がいない、差別のない世の中になって欲しいと心から思いました。

お母さんの友達のお兄ちゃんも、被差別部落の方と結婚されたそうです。家族とかも全然気にせず、円満に結婚したと聞いて差別する人ばかりでなく、差別していない人もいるんだとわかってほっとしました。無知、偏見、無関心。正しい知識を持っていないと偏った見方しかできないから、自分のことのように捉えられず、どこか他人事のように思ってしまう簡単に差別が生まれるのだと思います。この学習を忘れないことが大切だと思います。

学校評価(保護者)アンケート結果から ～教育活動の充実に向けて～

前月の学校便りでは、昨年末に実施した生徒アンケートの結果をお伝えさせていただきました。今回は保護者アンケートの調査結果と概要を紹介します。「そう思う」、「ややそう思う」を肯定的な回答、「あまりそう思わない」、「そう思わない」を否定的な回答として分析しています。



1の「お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。」、2の「お子さんは、興味をもって授業に取り組んでいると思いますか。」、7の「お子さんは、他を思う生徒に育っていると思いますか。」の問いは、それぞれほぼ9割が肯定的な回答となっており、昨年度と比べてもそれぞれ2ポイント程度増加しています。

しかし、4の「お子さんの学力は向上していると思いますか。」の問いには、生徒自身は同様の問いに7割以上が肯定的に回答していましたが、保護者の肯定的な回答は6割に満たない状況です。生徒の実感と保護者の期待の間には溝があり、学力向上に向けて授業改善や生徒への支援の在り方を見直していかなければと考えています。

また、5の「学校は情報提供を積極的に行っていると思いますか。」の問いに肯定的な回答は約7割で昨年度よりも-3ポイント、6の「相談できる教職員がいますか。」の問いに肯定的な回答が約6割で昨年度よりも-5ポイントと、課題が見出せる結果となりました。8の新型コロナウイルス感染症の防止対策については約9割の方が肯定的な回答となっており、一定の評価をいただいていると捉えていますが、家庭訪問や懇談会、運動会や合唱コンクールなどが中止となる中、家庭との連携や情報提供では物足りなさを感じる保護者の方が多いことがわかり、次年度に向けて改善が必要であるとと考えています。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

【3月の主な行事予定】

- 3月 9日(火) 公立高校学力検査
2年クラスマッチ
- 10日(水) 公立高校適性検査・面接
1年クラスマッチ
- 11日(木) 卒業式予行演習
- 12日(金) 卒業式
- 18日(木) 公立高校合格発表
- 24日(火) 終業式・離任式
- 25日(水)～31日(火) 学年末休業日

【4月の主な行事予定】

- 4月 6日(火) 着任式・始業式
- 8日(木) 入学式
- 12日(月) 生徒会朝会・任命式
- 19日(月) 全校朝会
- 28日(水) 学校参観日・PTA総会

【3月の下校完了時刻 18:00】

※行事予定は、新型コロナウイルス感染の状況により、変更することがあります。ご了承ください。